

宝塚神社



(図1)宝塚神社の本殿



(図2)アクセス

<場所>

兵庫県宝塚市社町4-8

<交通>

阪急電鉄今津線 逆瀬川駅から徒歩9分

<由緒>

明治以前までは山王^{さんのうごんげん}権現^{しゅうしよ}と称し広く衆庶に崇められていた。背面の岩倉山(489m)行者山・譲葉山などの地形からみて日吉^{ひよし}の神(山の神)を勧請せられ、田園地帯には素盞鳴^{すきのおかみ}の神(田の神)が鎮座されたことは当然の理である。お山の水を田に^{いただき}戴き、稲作を始め五穀^{ごこくほうじょう}豊穰が祈られてきたことは、全国各地で見られる日本の古くからの信仰で、山岳崇拝の形態である。創立年代は不詳だが、隣接する武庫山平林寺の記録によれば承和四年(837)作の仏像安置から考察すれば、同年代頃には神社存立は確かなものであったと思われる。御祭神である大山祇の神はその名の如く財宝を山積みにするという金運・商売繁盛・安産の神様であり、素盞鳴^{すきのおかみ}の神は農耕神であると共に厄除・縁結びの神様でもある。

<歴史>

昭和41年に素盞鳴^{すきのおんじや}神社を合祀し、日吉神社を宝塚神社と改めた。

武庫郡小林村の村社であった牛頭天王社の「東氏神^{ひがしうじがみ}」に対して、「西氏神^{にしうじがみ}」と呼ばれた。

<その他>

境内から大阪市街、生駒山地、金剛山地まで望めることから、初日の出の名所としても知られる。